

ウジミナス社拡張投資計画について
(イパチング近郊サンタナ・ド・パライズ地区に3番目の製鉄所を建設)

新日本製鐵株式会社(社長:宗岡正二、以下、「当社」)の南米におけるアライアンスパートナーであり、持分法適用関連会社であるウジミナス社(社長:マルコ・アントニオ・カステロ・ブランコ)は、高級鋼を中心とした南米最大の鋼板系鉄鋼メーカーです。今回ウジミナス社は、現在実行中の拡張計画の修正につき以下のとおり発表いたしました。

昨年、ウジミナス社は、イパチング製鉄所構内で、320万トンの鉄源能力拡張計画を発表したが、1)ブラジル国内鉄鋼需要の更なる拡大、2)自社鉄鉱山の買収、等の状況変化を反映し、従来の計画を拡大修正し、イパチング製鉄所に近接するサンタナ・ド・パライズ地区で、500万トンの鉄源製鉄所を建設することを決定した。

ウジミナス社は、2012年までに総額US\$141億の投資を行う。これにより、鉄源能力拡張・圧延能力増強・鉄鉱山買収及びその拡張が実行され、ウジミナス社のブラジル国内におけるリーダーシップの確立及び今後の国際化に向けた基盤強化が達成される。

サンタナ・ド・パライズ地区での鉄源能力拡張

- ・ 立地:イパチング製鉄所(ミナス・ジェライス州)から約7km離れた場所。既存インフラ・物流システムの活用が可能。
- ・ 投資額:57億US\$(見通し)
- ・ スケジュール:2011年前半の第1高炉稼働時に250万トン/年、2012年の第2高炉稼働時に500万トン/年の鉄源能力となる。

クバトン製鉄所での鉄源能力拡張

サンタナ・ド・パライズ地区での鉄源能力増強に加え、ウジミナス社はクバトン製鉄所(サンパウロ州)隣接地を候補地とする300万トン/年の新鉄源製鉄所も具体化について継続検討中。

圧延能力拡張

- ・ イパチング製鉄所
厚板:50万トン/年増強 熱延:15万トン/年増強 等
- ・ クバトン製鉄所
新熱延:第1段階で230万トン/年(拡張後480万トン/年)
- ・ ウニガル(当社とウジミナス社の自動車用亜鉛メッキ鋼板製造JV)
新第2溶融亜鉛メッキライン建設:55万トン/年

鉄山買収・拡張および港湾ターミナル用地購入

鉄鋼業界で世界的に垂直統合がすすむなか、コスト削減と効率的な操業を実現するために、ウジミナス社は、セラ・アズル地区（ミナス・ジェライス州）のJ・メンデス鉄鉱山を買収した。鉄鉱石生産能力は、現状の500万ト/年から、2013年までに2,900万ト/年に拡大する予定である。

また、ウジミナス社は、リオ・デ・ジャネイロ州のセペチバ湾沿いに85万平方メートルの敷地を購入した。この敷地に、ウジミナスの鉄鉱石および製品の港湾ターミナルの建設を計画中。

ウジミナス社は米州一の高級鋼鉄鋼メーカーとなることを目標に、上記の投資を実行します。当社も、全社を挙げてウジミナス社を支援し、当社・ウジミナス社両社企業価値の一層の向上を図る所存です。

（お問い合わせ先）総務部広報センター TEL：03-3275-5021，5022，5023

以 上